



※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	11,200,000株	26年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	22,479株	26年3月期	22,479株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	11,177,521株	26年3月期1Q	11,177,825株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。平成27年3月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当額を決定次第、速やかに開示いたします。なお、上記業績額予想に関する事項は添付資料2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	7
5. 補足事項 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出産業を中心とした大手企業の収益や雇用情勢の改善が進み、景気は回復基調にあるものの、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇、海外景気の下振れリスクに対する懸念や国際的な政情不安の影響等、先行きには不透明感を残す状況となりました。

また、企業の規模により回復度合いにばらつきが見られ、中小企業の業況は大企業と比べて相対的に改善が遅れている状況となっております。

このような経営環境のもと、当社の業績は売上高549百万円(前年同四半期比26.1%減)となりました。損益面におきましては、営業損失50百万円(前年同四半期は営業損失0.5百万円)、経常損失53百万円(前年同四半期は経常利益0.9百万円)、四半期純損失54百万円(前年同四半期は四半期純損失0.6百万円)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

#### 1. 製造事業

受注高および受注残高はともに前年同四半期比20%以上の増加となりましたが、出荷については液晶関連の真空ポンプで一時的に落ち込みました。売上高は416百万円と前年同四半期比32.2%の大きな減少となり、セグメント損失147百万円(前年同四半期はセグメント損失94百万円)の計上となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは140百万円(前年同四半期比60.1%減)、送風機・圧縮機は65百万円(前年同四半期比9.6%減)、部品および修理は211百万円(前年同四半期比11.0%増)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、北米向けは前年同四半期並みを確保したものの、中国・韓国向けの落ち込みにより、売上高は49百万円(前年同四半期比56.6%減)となりました。

#### 2. 不動産事業

オフィスビル賃貸市場の底打ちにより、売上高は132百万円(前年同四半期比2.5%増)、セグメント利益97百万円(前年同四半期比3.7%増)の計上となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は126百万円減少し6,195百万円、負債は86百万円減少し4,700百万円、純資産は39百万円減少し1,494百万円となりました。総資産の減少は、たな卸資産が330百万円増加しましたが、現金及び預金が231百万円、受取手形及び売掛金が227百万円減少したこと等が主な要因です。

負債の減少は、支払手形及び買掛金が72百万円増加、長期借入金が182百万円減少したのが主な要因です。

純資産の減少は、利益剰余金が54百万円減少したことが主な要因です。この結果、自己資本比率は前事業年度末比0.2%低下し、24.1%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,641,926	1,410,914
受取手形及び売掛金	1,191,391	964,064
たな卸資産	598,786	929,154
その他	49,778	48,267
流動資産合計	3,481,881	3,352,400
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,510,358	1,491,172
土地	631,643	631,643
その他(純額)	98,876	104,821
有形固定資産合計	2,240,878	2,227,637
無形固定資産	5,451	5,118
投資その他の資産		
その他	602,551	619,439
貸倒引当金	△9,136	△9,136
投資その他の資産合計	593,414	610,303
固定資産合計	2,839,744	2,843,058
資産合計	6,321,626	6,195,459
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	621,785	694,312
短期借入金	1,042,136	1,060,618
未払法人税等	29,504	1,942
賞与引当金	63,602	19,505
その他	203,414	231,669
流動負債合計	1,960,441	2,008,048
固定負債		
長期借入金	1,906,794	1,724,148
退職給付引当金	438,576	441,714
役員退職慰労引当金	118,600	120,730
その他	362,766	405,846
固定負債合計	2,826,737	2,692,439
負債合計	4,787,178	4,700,487
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	261,448	207,158
自己株式	△7,051	△7,051
株主資本合計	1,343,327	1,289,037
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	191,119	205,933
評価・換算差額等合計	191,119	205,933
純資産合計	1,534,447	1,494,971
負債純資産合計	6,321,626	6,195,459

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	743,735	549,350
売上原価	610,139	443,347
売上総利益	133,595	106,002
販売費及び一般管理費	134,155	156,384
営業損失(△)	△559	△50,382
営業外収益		
受取利息	245	212
受取配当金	3,257	3,849
助成金収入	3,029	-
その他	6,821	5,529
営業外収益合計	13,355	9,592
営業外費用		
支払利息	11,541	11,040
その他	312	1,270
営業外費用合計	11,853	12,310
経常利益又は経常損失(△)	941	△53,100
特別損失		
その他	435	0
特別損失合計	435	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	505	△53,100
法人税等	1,189	1,189
四半期純損失(△)	△683	△54,289

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	614,594	129,140	743,735
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	614,594	129,140	743,735
セグメント利益又は損失(△)	△94,545	93,986	△559

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業損失)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	416,963	132,387	549,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	416,963	132,387	549,350
セグメント利益又は損失(△)	△147,857	97,474	△50,382

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業利益)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

製 造 事 業	前第1四半期 平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで		当第1四半期 平成26年4月1日から 平成26年6月30日まで		対前期比増減	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	増減率%
製品別						
真空ポンプ	352,055	47.3	140,317	25.5	△211,738	△60.1
送風機・圧縮機	72,010	9.7	65,077	11.8	△6,932	△9.6
部品及び修理	190,529	25.6	211,568	38.5	21,039	11.0
そ の 他	—	—	—	—	—	—
製造事業計	614,594	82.6	416,963	75.9	△197,631	△32.2
内(輸出品)	(113,028)	※(15.2)	(49,046)	(8.9)	(△63,981)	(△56.6)
不 動 産 事 業	129,140	17.4	132,387	24.1	3,246	2.5
合 計	743,735	100.0	549,350	100.0	△194,385	△26.1

(注) ※の輸出品構成比率は売上高合計に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製 造 事 業	受 注 高			受 注 残 高		
	前第1四半期	当第1四半期	対前期比増減	前第1四半期	当第1四半期	対前期比増減
製品別						
真空ポンプ	393,422	494,966	101,543	499,114	603,642	104,527
送風機・圧縮機	133,577	210,169	76,592	275,618	424,956	149,338
部品及び修理	250,673	240,815	△9,857	127,082	122,934	△4,148
そ の 他	5,630	6,330	700	6,630	6,330	△300
合 計	783,303	952,281	168,978	908,445	1,157,862	249,417